

## 2 特別会計

国民健康保険事業など6つの特別会計の決算額合計は、歳入合計101億1,160万円（対前年度比（以下同じ）2.8%減）に対し、歳出合計98億6,795万円（2.9%減）となりました。

国民健康保険事業、水沼診療所、公共下水道事業、漁業集落排水事業、介護保険事業及び後期高齢者医療の各特別会計は、すべて黒字決算となりました。

### (1) 歳入決算の状況

（単位：千円）

会計区分	令和元年度	構成比 (%)	平成30年度	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
国民健康保険事業	4,683,679	46.3	5,066,050	48.7	△ 382,371	△ 7.5
水沼診療所	7,125	0.1	7,244	0.1	△ 119	△ 1.6
公共下水道事業	560,895	5.5	623,893	6.0	△ 62,998	△ 10.1
漁業集落排水事業	123,022	1.2	57,691	0.5	65,331	113.2
介護保険事業	4,234,867	41.9	4,170,397	40.1	64,470	1.5
後期高齢者医療	502,009	5.0	478,620	4.6	23,389	4.9
歳入合計	10,111,597	100.0	10,403,895	100.0	△ 292,298	△ 2.8

### (2) 歳出決算の状況

（単位：千円）

会計区分	令和元年度	構成比 (%)	平成30年度	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
国民健康保険事業	4,599,082	46.6	4,994,066	49.2	△ 394,984	△ 7.9
水沼診療所	7,114	0.1	6,787	0.1	327	4.8
公共下水道事業	536,886	5.4	606,021	5.9	△ 69,135	△ 11.4
漁業集落排水事業	119,010	1.2	51,306	0.5	67,704	132.0
介護保険事業	4,113,101	41.7	4,027,233	39.6	85,868	2.1
後期高齢者医療	492,761	5.0	475,179	4.7	17,582	3.7
歳出合計	9,867,954	100.0	10,160,592	100.0	△ 292,638	△ 2.9

## 3 企業会計

水道事業会計の収益的収支は黒字決算となりましたが、資本的収支は収入額が支出額に対し不足したため、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

工業用水道会計の収益的収支は赤字決算となり、資本的収支は収入額が支出額に対し不足したため、当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

市民病院会計の収益的収支は黒字決算となりましたが、資本的収支は収入額が支出額に対し不足したため、過年度分損益勘定留保資金等で補てんし、なお不足する額については、令和元年度同意済企業債未発行分を以て翌年度に措置します。

## (1) 収入決算の状況（消費税込み）

（単位：千円）

会計区分		令和元年度	構成比 (%)	平成30年度	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
上水道	収益的	1,262,688	—	1,221,079	—	41,609	3.4
	資本的	650,340	—	1,101,813	—	△ 451,473	△ 41.0
工業用水道	収益的	150,328	—	149,085	—	1,243	0.8
	資本的	0	—	0	—	0	—
市民病院	収益的	3,375,145	—	3,262,800	—	112,345	3.4
	資本的	113,472	—	150,289	—	△ 36,817	△ 24.5

## (2) 支出決算の状況（消費税込み）

（単位：千円）

会計区分		令和元年度	構成比 (%)	平成30年度	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
上水道	収益的	914,975	—	924,690	—	△ 9,715	△ 1.1
	資本的	1,336,396	—	1,756,061	—	△ 419,665	△ 23.9
工業用水道	収益的	187,908	—	188,355	—	△ 447	△ 0.2
	資本的	25,536	—	52,220	—	△ 26,684	△ 51.1
市民病院	収益的	3,369,509	—	3,388,544	—	△ 19,035	△ 0.6
	資本的	312,754	—	266,488	—	46,266	17.4

なお、公営企業のすべてにおいて、財政健全化法上の資金不足は生じていません。

※資金不足比率…公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合を示すもの。